

情報工学系 情報工学コース (博士後期課程)

アドミッション・ポリシー (求める人材像と求める力)

情報工学系では、次のような人材を求めます。

- ・コンピュータシステムの新しい研究課題に対して、幅広い視野と論理的思考能力により解決することに挑戦できる人
- ・様々な対象問題に対して、常識にとらわれず、新しいモデリングを考案して実現しようとする人

アドミッション・ポリシー (入学者選抜方針)

学位論文 (またはこれに代わる研究業績) による研究能力に関わる試問, 情報工学系の専門に関する学力, 英語による語学力などについて, 口頭試問などにより, 情報工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

情報工学系 情報工学コース (博士後期課程)

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは、「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 専門分野を基軸とした課題発見・探究力

博士論文執筆に向けた研究分野のサーベイをおこなうことにより、研究分野の現状を俯瞰し、課題を発見する能力を学修する。

B) 専門的創造力・発信力

博士論文執筆に向けて、自らの専門分野への理解を深め、さらに新しいアイデアを着想する能力を学修するとともに、それを論文としてまとめ国際的な場で発表することにより発信力を高める。

C) リーダーシップ力

系で提供している博士フォーラム科目を通して、専門を異にするチームメイトと積極的に議論を行い、高度な討論をする能力について学修するとともに、リーダーとして多様な考えや意見を整理し、集約するための能力を学修する。

D) 先導力と起業家精神

インターンシップ科目やキャリア科目を通して、自分の専門分野と実社会の課題について理解と洞察を深め、自ら新しいプロジェクトを立ち上げる能力について学修する。

E) グローバル交渉力

系で提供している博士フォーラム科目や学院で提供している英語プレゼンテーション科目を通して、外国語で自らの主張をプレゼンテーションし、さらに議論する能力を学修する。

ディグリー・ポリシー (修得する力)

情報工学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・情報基盤・情報システム・情報サービスに関する幅広く深い専門知識を基に自ら新しい学問分野を切り開く能力
- ・自ら新しい問題を発見する能力
- ・技術的観点に加え、広く社会的観点からも自らの専門分野の状況を客観的に評価できる能力
- ・国際的な共同研究・開発をするために必要な強いリーダーシップ